

ミャンマー

(1) 基礎項目

地 理	面積:67.7万平方キロメートル(日本の約1.8倍) 地理:インドシナ半島の西端、東はタイ、ラオス、西はインド、バングラデシュ、北は中国と国境を接し、南はインド洋に面している。
気 候	熱帯モンスーン気候(北部の山岳地帯等を除く)。季節は暑季(3月~5月中旬)、雨季(5月下旬~10月)、乾季(11~2月)の3季に分かれる。
首 都	ネーपीドー(人口41.8万人、07年) 旧首都:ヤンゴン(人口499.4万人、09年)
人 口	5,882万人(08年、ADB)、増加率2.3%(90~08年平均、ADB)
民 族	ビルマ族68%、シャン族9%、カレン族7%、その他16%
宗 教	仏教(小乗仏教)89%、キリスト教5%、イスラム教4% ほか
言 語	公用語はミャンマー語。

(2) 政治・社会

独立年月日	48年1月、英国よりビルマ連邦共和国として独立。89年6月、国名をミャンマー連邦に変更。
現 憲 法	88年9月の軍事クーデターにより、軍政は憲法を廃止。08年5月、軍政が起草した新憲法草案が国民投票によって承認される。10年の総選挙後、第1回国民議会開催時に新憲法公布を予定。
政 体	連邦共和制、国家平和発展評議会(SPDC)による軍事独裁
元 首	タン・シュエ SPDC 議長(92年4月~、任期不定)
行政責任者	テイン・セイン首相(07年10月~、任期不定)
政 党	軍政による独裁。88年のクーデター以前に国民議会を構成していた国民民主連盟(NLD)、国民統一党(NUP)、シャン民族民主連盟(SNLD)などは、現在、軍政によって党活動が制限されている。
議 会	軍政による独裁。10年の総選挙後、第1回国民議会開催を予定。
軍 事	総兵力48.2万人(陸軍35.0万人、海軍1.3万人、空軍1.2万人、人民警察軍7.2万人など)
外 交	非同盟中立外交が基本方針、97年7月ASEAN加盟
加盟国際機関	国連、IMF、世銀、ADB、WTO、ASEAN ほか
教 育	基礎教育は5-4-2制(義務教育制度はないが、小・中学校教育は無料)、大学は4~7年、小学校就学率93%(05年)

(3) 経済(原則として09年数値)

公定レート1ドル=5.63チャット(10年4月末現在)

公認市場レート1ドル=450チャット(10年4月末現在)

実勢レート1ドル=1,000~1,100チャット

名目GDP	9兆789億チャット(99.7億ドル)(04年度)
名目GDP構成比	農業48.4%、鉱工業16.2%、サービス業35.4%(04年度)
輸出構造	天然ガス35.5%、農産物18.7%、林産物(木材加工品を含む)6.7%、縫製品4.3%、水産物3.7%、鉱物0.6% など
主要輸出先	タイ43.3%、インド15.4%、香港13.3% など
輸入構造	資本財34.8%、消費財33.1%、原材料・中間財32.2%
主要輸入先	シンガポール31.1%、中国30.2%、タイ9.0% など
本邦金融機関 進出状況	銀行駐在員事務所:三菱東京UFJ、三井住友 損保駐在員事務所:東京海上日動、損害保険ジャパン、三井住友海上
総合商社 進出状況	駐在員事務所:伊藤忠商事、住友商事、双日、豊田通商、丸紅、三井物産、三菱商事